

株主・投資家の皆様へ

LINTEC WAVE

リンテックウェーブ

*Linking
your
dreams*

JUNE 2021

83

● 社長インタビュー

長期ビジョン「LSV 2030」の
実現に向けて始動

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

● LINTEC ESSAY

木久扇一門、コロナ時代に
立ち向かう！

林家 木久扇

第127期
(2021年3月期)
決算情報

証券コード：7966

LINTEC WAVE 83

JUNE 2021



ホワイト・ハブン・ビーチ
オーストラリアにある世界最大の
サンゴ礁「グレート・バリア・リーフ」
内に位置するビーチ。潮の満ち引き
により、青い海と白い砂浜が入り
組んだ絶景が広がる。

目次

- 2 1年間の主な動き
- 4 社長インタビュー
長期ビジョン「LSV 2030」の
実現に向けて始動
代表取締役社長 服部 真
社長執行役員
- 10 トピックス
- 11 FRONT LINE
- 12 LINTEC ESSAY
木久扇一門、コロナ時代に
立ち向かう！ 林家 木久扇
- 14 決算情報
- 16 セグメント情報
- 19 グローバルネットワーク
- 20 新聞広告シリーズ
- 21 会社概要／役員一覧
- 22 株式情報
- 23 アンケートへのご協力をお願い

(免責事項)

業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

1年間の主な動き



5月18日

- ・凍結・結露面への貼付に適したチルド環境対応
ラベル用粘着製品「CHILL AT」を発売

5月

- ・東海道新幹線の特大荷物
スペースを案内する車両
床面表示に当社フロアマー
キングフィルムが採用



(提供：JR東海)

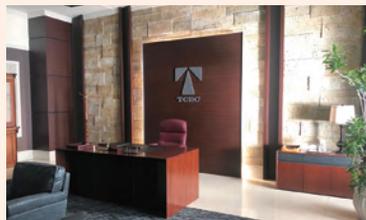
7月1日

- ・脱プラスチック需要に
対応したラベル用粘
着製品「PLALESS」
シリーズを発売



Pick Up

7月～9月に放送されたTBSテレビの連続ドラマ「半沢直樹」の撮影セットに内装用化粧フィルム「PAROI」が使われ、ダークトーンの木目柄が重厚感を演出しました。



2021年3月期 第1四半期 決算発表（8月7日）

8

9

10

11

12

2021

1

2

3

2021年3月期 第2四半期 決算発表（11月9日）

2021年3月期 第3四半期 決算発表（2月10日）

9月1日

- ・廃棄処分される小豆の殻を有効活用した特殊紙「小豆殻CoC」を発売
- ・エンボス調の色画用紙「匠のニューカラーR」を発売



i

当社は「ニューカラーRシリーズ」の売り上げの一部を日本赤十字社に寄付しています。

11月2日

- ・使用済みプラスチックの再資源化事業を推進する「株式会社アールプラスジャパン」に資本参加

11月24日

- ・営業統括拠点の「飯田橋オフィス」を近隣のビルの2フロアに移転し、「文京春日オフィス」として業務を開始



11月25日

- ・耐水強度などに優れ、ぬれても破れにくい印刷用紙「プラスペース CoC」を発売



12月24日

- ・階段の手すりやテーブルなどに施工できる抗ウイルス加工を施した特殊粘着フィルムを発売



12月24日～27日

- ・「第89回 全日本フィギュアスケート選手権大会」に協賛

3月1日

- ・99%以上の不透明度を実現した封筒用紙「ハーフトーンカラー99N」の新色4アイテムを発売

3月24日

- ・抗ウイルス・抗菌加工を施したラベル用ラミネートフィルムを発売。透明ラベルと組み合わせてエレベーターのボタンにも使用可能



IRメール配信サービスの
お知らせ

当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



IR情報サイト：www.lintec.co.jp/ir

※ スマートフォンなどで左記の二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

長期ビジョン「LSV 2030」の 実現に向けて始動

当社グループでは、2030年3月期を最終年度とする長期ビジョン「LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030」（略称：LSV 2030）および2024年3月期までの3か年中期経営計画「LSV 2030-Stage 1」を策定し、今期からスタートしました。長期ビジョン・新中期経営計画の概要と今後の見通しについて服部社長に聞きました。



2030年3月期 財務指標

売上高営業利益率 **12%以上**

ROE (自己資本当期純利益率) **10%以上**

代表取締役社長
社長執行役員

はっとり まこと
服部 真

Q

まずは前期業績の振り返りをお願いします。

A

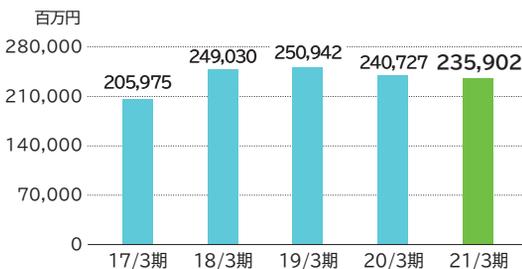
2021年3月期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大や米中貿易摩擦の影響を大きく受けましたが、期後半には持ち直しの動きが見られました。また、我が国においても秋口以降、中国や米国への輸出や個人消費に支えられ、景気は回復基調をたどりましたが、全体としては国内外ともに厳しい状況で推移しました。

このような経営環境の下、当社グループの業績は、半導体・電子部品関連製品が好調な需要に支えられて順調に推移した一方、そのほかの製品は第3四半期以降、受注の回復が見られたものの、コロナ禍の

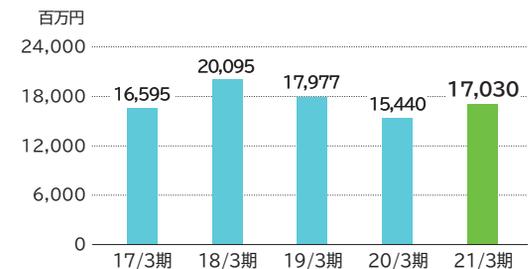
影響を受けて総じて低調に推移しました。

この結果、連結売上高は前年同期比2.0%減の2,359億2百万円、営業利益は同10.3%増の170億30百万円、経常利益は同15.8%増の167億70百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同18.6%増の114億7百万円となりました。期前半の低迷により一度は下方修正した業績予想を第3四半期の決算発表時には逆に上方修正するなど、先を見通すのが非常に難しい1年となりましたが、最終的に売上高は上方修正数値を上回り、利益面については期初予想も上回るという結果になりました。

▶ 売上高



▶ 営業利益



▶ 経常利益



▶ 親会社株主に帰属する当期純利益



Q 次に長期ビジョン策定の背景について教えてください。

A 2020年3月期を最終年度とした前中期経営計画「LIP*-2019」が終了し、本来なら前期から新たな中期経営計画をスタートさせる予定でしたが、既存の事業展開の延長線上で3年間の経営計画を策定するやり方では、大きな未来を描くことはできません。そこで当社グループでは、まず長期ビジョンとして2030年のあるべき姿をしっかりと描き、その実現に向けたマイルストーン（中間目標）として3年ごとの中期経営計画を策定・推進していき

ました。また、2022年3月期より収益認識に関する会計基準が適用となり、売上高や営業利益率に大きな影響を及ぼすことから、今期より長期ビジョン「LSV 2030」と新中期経営計画「LSV 2030-Stage 1」をスタートさせました。

* LIP: LINTEC INNOVATION PLAN



Q 「LSV 2030」の概要についてご説明ください。

A 地球温暖化や世界的な人口の増加、国内における少子高齢化と人口減少、そして現在も蔓延が^{まんえん}続く新型コロナウイルス感染症といったさまざまな社会問題がある中、当社では事業活動を通じて社会

的課題の解決に貢献していき^{こと}をあるべき姿と考え、持続可能性を意味する“サステナビリティ”をキーワードに長期ビジョンを策定しました。これを基に昨今、各企業に対応強化が求められているESG（環境・社会・

ガバナンス)やSDGs*を重視した企業経営を推進していく方針です。特に環境への配慮は何よりも重要なテーマと考えており、CO₂の排出量については2030年までに2013年度比で50%以上の削減を目標とし、2050年には実質ゼロを目指します。

また、これまで培ってきた独自の技術力をさらに高めていくと同時に、イノベーション(技術革新)によって企業体質の強靱化を図りながら新製品・新事業を創出し、持続可能

な社会の実現に貢献することを目指します。

最終年度となる2030年3月期の財務指標としては、売上高営業利益率12%以上、ROE10%以上を掲げ、採算性の向上と資本コストを大きく上回るリターンの実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

* SDGs (エス・ディー・ジーズ) : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。2015年に国連サミットで採択され、持続可能な社会の実現に向けた17の目標(ゴール)と169の指標(ターゲット)で構成される

長期ビジョン

「LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030」(略称: LSV2030)

基本方針 イノベーションによる企業体質の強靱化と持続的成長に向けた新製品・新事業の創出を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献する

重点テーマ

1. 社会的課題の解決

- (1) 環境…脱炭素社会・循環型社会の実現への貢献 など
- (2) 社会…人権の尊重、ステークホルダーへの情報開示とコミュニケーション強化 など
- (3) ガバナンス…コーポレートガバナンスの強化、取締役会の実効性のさらなる向上 など
- (4) 事業活動を通じたSDGs達成への貢献

2. イノベーションによる企業体質の強靱化

- (1) DXによる設計・開発・製造・物流・業務プロセスの変革
- (2) ビルド&スクラップによる省エネ、高品質、高効率、省人化を目的とした新規生産設備の導入
- (3) 生産プロセス革新によるコスト競争力の強化
- (4) 低成長・不採算事業の構造改革とグループ会社の経営健全化
- (5) 強固な財務基盤の維持と資本効率の向上

3. 持続的成長に向けた新製品・新事業の創出

- (1) 技術革新による新製品・新事業の創出
- (2) 戦略的投資の拡大と機動的M&A
- (3) さらなるグローバルプレーヤーへの飛躍
- (4) ローカリゼーションの確立

2030年3月期
財務指標

売上高営業利益率

12%以上

ROE
(自己資本当期純利益率)

10%以上

Q

「LSV 2030-Stage 1」では、どのようなことに取り組んでいくのでしょうか。

A

まず、サステナビリティへの活動を強化するため、既存のCSR（企業の社会的責任）推進体制を再編したほか、この6月の定時株主総会での決議を受けて、取締役会の独立社外取締役比率を3分の1とし、ガバナンス体制を強化しました。事業面では、米国の粘着製品メーカーを買収し、生産能力の増強などを図りました。そのほか、今後3年間で成長事業の拡大や環境対応などに向けた設備投資を400億円計画しています。

各事業セグメントの取り組みについては、印刷・情報材事業部門では北米やアジア地域における生産拠点の拡充や営業力の強化に加え、QCD（品質・コスト・納期）の強化による収益改善も図っていきます。産業工材事業部門ではウインドーフィルムの高機

能製品の開発に努め、国内外での拡販に注力していきます。アドバンストマテリアルズ事業部門では半導体・電子部品関連市場の旺盛な需要に対応するため、製品の供給体制を強化していくほか、次世代デバイス製造プロセス用の新製品開発にも積極的に取り組んでいきます。オプティカル材事業部門については、次世代ディスプレイ用粘着剤の開発や車載用OCA（光学透明粘着シート）などの新製品開発と拡販に努めていきます。洋紙事業部門では、昨今高まりつつある脱プラスチック需要やフードロス（食品廃棄）の削減に応える高機能特殊紙を拡販していきます。加工材事業部門については、有機溶剤やポリエチレン樹脂などを使わない製品の拡充を推進していきます。

▶ 「LSV 2030-Stage 1」

| 2024年3月期（最終年度）経営目標 | | 各事業セグメントの主な取り組み |
|--------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 売上高 | 2,550億円 | 印刷材・産業工材関連 （印刷・情報材事業部門、産業工材事業部門） ・米国やアジア地域など海外での生産拠点拡充と営業力強化など ・国内外でのウインドーフィルムの拡販と高機能製品の拡充・展開 など |
| 営業利益 | 210億円 | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 140億円 | 電子・光学関連 （アドバンストマテリアルズ事業部門、オプティカル材事業部門） ・積極的な投資による半導体・電子部品関連製品のシェア拡大 など ・次世代ディスプレイ用粘着剤の開発 など |
| 売上高営業利益率 | 8%以上 | |
| ROE（自己資本当期純利益率） | 7%以上 | 洋紙・加工材関連 （洋紙事業部門、加工材事業部門） ・脱プラ・フードロス対応新製品の開発・拡販 など ・剝離紙の無溶剤化と脱ポリ化の推進 など |

Q

今期の業績見通しと株主還元について教えてください。

A

2022年3月期の業績見通しにつきましては、ワクチン接種の進展や各国の経済対策の効果などに伴って景気は緩やかに回復していくものと見込んでおり、業績予想は増収・増益予想としました。なお、収益認識に関する会計基準の適用による売上高の減少額は、136億円と見えています。

▶ 2022年3月期 業績予想（前年同期比）

| | |
|-----------------|----------------|
| 売上高 | 2,400億円（1.7%増） |
| 営業利益 | 175億円（2.8%増） |
| 経常利益 | 175億円（4.3%増） |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 125億円（9.6%増） |

※ 上記予想は収益認識に関する会計基準適用後の数値となっており、前年同期比は参考値として記載しております。

また、株主還元につきましては、経営基盤の強化を図りつつ、各事業年度の連結業績を勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを利益配分の基本方針としております。この方針の下、2021年3月期の期末配当金は当初予定どおり39円とし、年間配当金は中間配当金39円と合わせ、1株当たり78円とさせていただきます。2022年3月期の年間配当金につきましては、当期と同額の78円を予定しており、配当性向は45.1%となる見込みです。今後も強固な財務基盤を維持しつつ、資本効率の向上に努めるとともに、安定配当と業績拡大による株主還元のさらなる充実を図ってまいります。

Q

最後に株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いします。

A

新中期経営計画「LSV 2030-Stage 1」の最終年度となる2024年3月期の経営目標は、今年3月の発表時点では売上高を2,400億円としていましたが、4月の米国メーカーの買収などを踏まえて見直しを行い、2,550億円に修正しました。利益面については変更しておりませんが、過去最高益を目指していきます。

気候変動やパンデミックといった社会問題は経営にとっての大きなリスクとなり

ますが、従業員一人ひとりが社会の変化に対してのアンテナを広げ、消費者の視点に立って行動することで、社会や顧客のニーズに応える新たな価値を創造してまいります。長期ビジョン「LSV 2030」の実現に向け、まずは着実に新中期経営計画を達成できるよう全社一丸となって邁進してまいります。

株主・投資家の皆様には引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

米国の粘着製品メーカーを買収

当社グループは4月1日に、米国のデュラマーク社を買収しました。同社はシール・ラベル用粘着製品のさまざまな粘着剤処方や高速塗工に対応した生産設備を有していることに加え、壁面装飾用などのグラフィックフィルムの一貫生産体制を整えているのが特徴で、今回の買収により当社の米国子会社で同業のマックタック・アメリカ社の傘下に入ります。今後、シール・ラベル用粘着製品の生産能力増強による拡販やグラフィックフィルムの内製化によるコスト削減といった相乗効果が期待され、安定成長が続く北米市場における収益拡大を図っていきます。

●デュラマーク社の概要

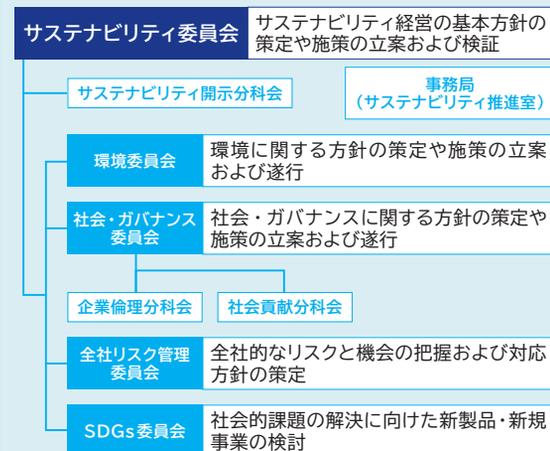
社名：Duramark Products, Inc.
 (4月8日付でMactac, Inc.に社名変更)
 創業：1983年
 所在地：米国サウスカロライナ州
 事業内容：シール・ラベル用粘着製品、グラフィックフィルムなどの製造販売
 売上高：76百万USドル(2020年12月期)
 取得価額：約60百万USドル(取得割合100%)



持続可能な社会の実現に向けて活動推進体制を刷新

当社では、これまで推進してきたCSR活動を発展させてサステナビリティへの取り組みを強化するため、この4月に活動推進体制を刷新しました。社長が委員長を務め、社外取締役も参画する「サステナビリティ委員会」を筆頭に、ESGやSDGs、リスク管理などに関する各委員会・分科会を設置した体制に再編。それぞれが幅広い部署のスタッフで構成され、全社的な視点で活動することで社会と共に成長を目指していきます。

サステナビリティ活動の推進体制



フロントライン
FRONT LINE

— 最前線 —

各現場の最前線で活躍中の社員を紹介する当コーナー。今回は当社主力製品のシール・ラベル用粘着製品を生産する龍野工場（兵庫県）の技術スタッフをご紹介します。



龍野工場
製造技術課
いわい なお
祝 菜央

2014年に入社し、生産本部龍野工場に配属。研究所で設計された製品を実際の生産機で量産・安定生産するための業務に従事。

Q 現在の仕事について教えてください。

新規開発品の量産化に向けて、粘着剤の塗工や製品の裁断工程における各種条件の検討や品質評価を行っています。そのほか、既存品の改良や生産性の向上なども含め、年間で50件以上の案件に携わっています。特に近年ニーズが高まっている、環境に配慮した無溶剤処方粘着製品を担当することが多いですね。



製品の無溶剤化

通常の粘着製品の製造工程では、粘着剤を塗工する際に有機溶剤を使用します。当社では、有機溶剤を使わない水系粘着剤やホットメルト粘着剤の採用などにより、環境負荷の低減を図っています。

Q 仕事をするうえで課題と感じていることはありますか。

製品に使用されている粘着剤や基材、剥離紙・剥離フィルムといった原材料の知識をさらに身につけていきたいです。素材についての化学的な理論が分かれば、生産条件や仕様の変更を検討する際に、より早く最適な答えにたどり着けるようになると思います。分からないことがあれば、周りの経験豊富な先輩や同僚、研究所のスタッフなどにも積極的に相談するよう心掛けています。

Q どんな時に仕事のやりがいを感じますか。



研究所や営業の担当者と打ち合わせを重ね、機械の調整や材料の見直しなど試行錯誤を繰り返しながら、無事に量産に至った時に一番やりがいを感じます。特にシール・ラベル用粘着製品は、商品の表示ラベルなどに使われることも多いので、自分が手がけた製品を店頭で目にする感慨深いですね。当社は幅広い事業を展開しているので、将来的には他事業の製品や従来とは異なる新規分野の製品の量産技術にも携わってみたいです。

木久扇一門、コロナ時代に立ち向かう!

林家 木久扇

新型コロナウイルスの影響で、上野鈴木本演芸場、新宿末廣亭、浅草演芸ホール、池袋演芸場、国立演芸場などで予定していた多くの寄席が休席になり、私たち落語家は収入の道が断たれてしまった。私も落語家生活60年を過ごしてきたが、こんな時代には初めて直面した!えらい事になったものだ。

私は小学1年生の時に空襲を体験していて、昭和20年3月の東京大空襲では、日本橋の実家が焼けた。とにかく毎晩のようにおばあちゃんの手を引き、小学校の地下の防空壕へ逃げ込んで空襲をよける日々で、子供心にいつも死と向き合ってきた。そして現在の新型コロナウイルス。人為的な戦争ではないにしても、この疫病は世界中に広まっている。しかし、制限はされていても交通機関は動いているし、どうしても必要な対面での打ち合わせもある。とにかく細心の注意を払って対処するしかない。

そこでコロナ禍で時間の余った私の生き方。まず、以前から企画していた2冊の単行本を書いて出版した。1冊は「イライラしたら豆を買いなさい 人生のトリセツ 88のことば」という木久扇流の生き方指南本。もう1冊は、雑誌等に連載していた絵と文の「木久扇のチャンバラ大好き人生」。私の心のふるさとは時代劇映画なのであります。また、コロナ禍以前から“チューバー・キクキン”として発信している「キクキンTV」はもう60回を超えて、登録者数も5万6千人に達した。今後は「キクオーTV(仮題)」として発展させる予定。

今年3月16日・17日、明治座にて「林家木久扇 芸能生活60周年記念公演」を行い、春風亭小朝、笑福亭鶴瓶各師匠を豪華ゲストに迎えて、2日間の昼・夜を満席にした。そして4月には、「笑点 放送55周年特別記念展」を新宿高島屋で開催。併設された個展では、私の画家としての作品56点がギャラリーに飾られた。私の



林家 木久扇 (はやしや きくおう)

落語家。1937年、東京都日本橋生まれ。1956年に漫画家の清水崑氏へ入門。1960年に三代目 桂三木助門下へ入門し、三木助没後には八代目 林家正蔵門下へ移る。1965年に二ツ目、1973年には真打に昇進。現在は一般社団法人落語協会相談役、公益社団法人俳人協会会員、公益社団法人日本漫画家協会参与。日本テレビの「笑点」では50年以上レギュラーメンバーを務めるほか、歌・絵画・執筆活動など多方面で活躍中。

グッズも、木久蔵ラーメンをはじめ絵ハガキ・本と、いっぱい店を出した。こうして書いてみると、林家木久扇は何と幸せなことかと思えば、つくづく有難い。

林家一門、11人の弟子たちも負けてはいない。昨年4月頃、店頭にはマスク不足で人が並び、大きな社会現象となった。これは商機だとひらめいた林家彦いち、マスクの供給を考え付く。アウトドア仲間の友人を長野県諏訪市に訪ねて、ポリエチレンのロールを求め、レーザーカッターでカットしてマスクにした。真空詰めものを1日100セット作って送り出したのだ。林家やま彦という若い前座は、諏訪の住み込みとなって製品を作り、東京でそれを後輩の前座、林家きよ彦と林家ひこうきの二人が袋詰めにして「前座マスク」として売り出した。これがテレビでも取り上げられて評判になり、1,500セットを売り上げたそう。

教師の資格を持っている林家ひろ木は、人づてに紹介された横浜の小学校でアル

バイトの非常勤講師をやっている。書道（四段の資格あり）、図工、算数の3科目を教えているそうだ。彼は落語のほかに津軽三味線も弾けるので、伝統文化の時間を作って披露したら先生や生徒たちもビックリし、授業は盛り上がったそう。「面白い先生!」として評判がいいんです」と本人が言う。

九番弟子の林家けい木は、身軽ですばしっこい。彼が生活の糧として見付けた仕事がウーバーイーツ。自転車でリュックを背負って配達する出前である。「どんなものを届けるの?」と聞くと、「タピオカドリンク1杯、ラーメン1杯の時もあるし、スーパーで牛乳やジュース、食品のまとめ買いをして配達することもあります。これは重くて大変です」と言っていた。

まだまだ書ききれないが、林家木久扇一門、各々が知恵を絞って「コロナ何するものぞ!」「コロナなんかに絶対負けるもんか!」と立ち向かい、これからも頑張って落語家を続けてまいります。

コロナ禍で活動が制限される中、今できることに精力的にチャレンジする木久扇さんとお弟子さんたち。リントックも抗ウイルスフィルムやソーシャルディスタンスの確保を呼びかけるフロアマーキングフィルムなど、持ち前の粘着技術を生かした製品を展開し、感染拡大防止に努めています。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

| （単位：百万円） | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 |
|----------------|----------------|----------------|
| 流動資産 | 170,098 | 163,660 |
| 固定資産 | 110,164 | 115,311 |
| ① 資産合計 | 280,262 | 278,972 |
| 流動負債 | 63,506 | 66,119 |
| 固定負債 | 19,406 | 20,554 |
| ② 負債合計 | 82,912 | 86,674 |
| ③ 純資産合計 | 197,350 | 192,298 |
| 負債純資産合計 | 280,262 | 278,972 |

連結損益計算書及び 連結包括利益計算書（要約）

| （単位：百万円） | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 |
|-------------------------------|----------------|----------------|
| ④ 売上高 | 235,902 | 240,727 |
| 売上総利益 | 58,228 | 58,440 |
| 販売費及び 一般管理費 | 41,198 | 42,999 |
| ⑤ 営業利益 | 17,030 | 15,440 |
| 経常利益 | 16,770 | 14,484 |
| 税金等調整前 当期純利益 | 16,635 | 13,939 |
| ⑥ 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 11,407 | 9,620 |
| 包括利益 | 10,619 | 7,649 |

□ポイント！

① 資産合計

たな卸資産、のれんが減少しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、総資産は12億90百万円増加しました。

② 負債合計

支払手形及び買掛金が増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金が増加したことなどにより、負債は37億61百万円減少しました。

③ 純資産合計

為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金、退職給付に係る調整累計額が増加したことなどにより、純資産は50億52百万円増加しました。

④ 売上高

アドバンストマテリアルズ事業部門は増加しましたが、そのほかの事業部門が新型コロナウイルスの感染拡大による需要低迷を受けて減少したことなどにより、売上高は48億24百万円減少しました。

⑤ 営業利益

アドバンストマテリアルズ事業部門の増収効果やパルプ・石化原材料価格の下落などにより、営業利益は15億90百万円増加しました。

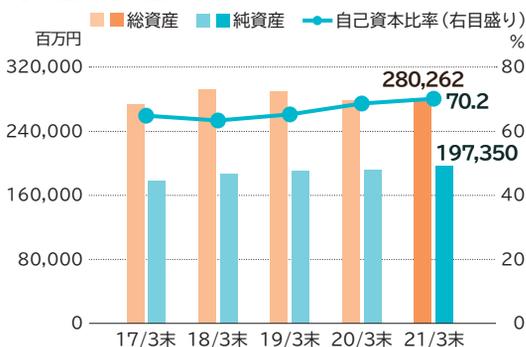
⑥ 親会社株主に帰属する 当期純利益

営業利益の増加に加え、固定資産除却損や減損損失が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は17億86百万円増加しました。

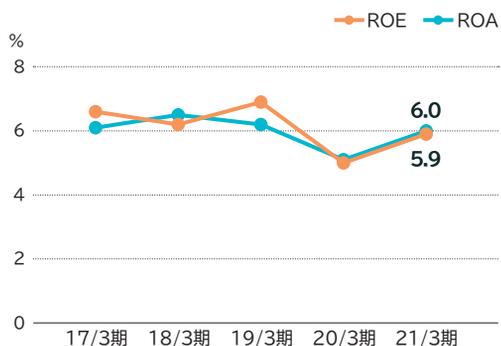
連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

| (単位: 百万円) | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 |
|----------------------|-------------|-------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 28,824 | 18,501 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △8,612 | △13,818 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △14,129 | △10,284 |
| 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | △706 | △441 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 57,636 | 52,260 |

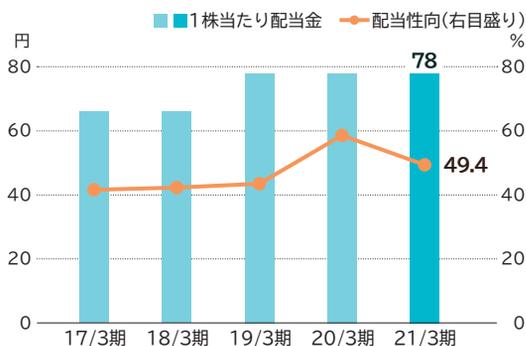
総資産・純資産・自己資本比率



ROE(自己資本当期純利益率)・ROA(総資産経常利益率)



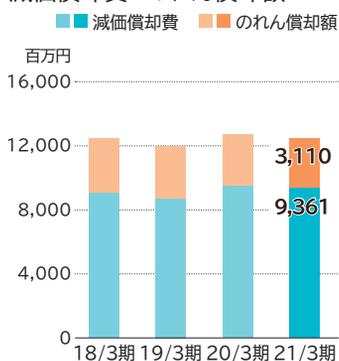
1株当たり配当金・配当性向



設備投資額



減価償却費・のれん償却額



研究開発費



印刷材・産業工材関連

売上高 **1,157億45百万円** (5.5%減)

営業利益 **△2億39百万円** (—)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

印刷・情報材事業部門 売上高 **850億48百万円** (2.0%減)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム

シール・ラベル用粘着製品は、国内では食品や通販関連が堅調だったものの、医薬やコスメ・トイレタリー関連の需要が減少したことにより低調に推移しました。海外においては、米国が堅調だったものの、中国やアセアン地域は低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



産業工材事業部門 売上高 **306億96百万円** (13.8%減)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム

二輪を含む自動車用粘着製品やウィンドーフィルムは、第3四半期に入り需要が回復したものの、期前半の落ち込みをカバーするまでには至らず大幅に減少しました。また、各種イベントの延期・中止などに伴い、装飾関連フィルムの需要が低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



※ セグメント別の営業利益は、セグメント間取引消去前の数値に基づいています。

※ ()内は前年同期比

電子・光学関連

売上高 **889億76**百万円 (8.6%増)

営業利益 **144億35**百万円 (31.5%増)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

アドバンスマテリアルズ事業部門 売上高 **552億94**百万円 (16.0%増)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ

5G関連やパソコン、スマートフォンなどの需要増加により、半導体関連粘着テープおよび関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープともに好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



オプティカル材事業部門 売上高 **336億81**百万円 (1.7%減)

主要製品

- 偏光・位相差フィルム／粘着加工
- 偏光フィルム／表面加工

光学ディスプレイ関連粘着製品は、期前半は需要低迷の影響を大きく受けましたが、第3四半期に入り大型テレビ用やスマートフォン用などの需要が回復しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ僅かに減少しました。



洋紙・加工材関連

売上高 **311億81**百万円 (14.2%減)

営業利益 **27億40**百万円 (21.8%減)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

洋紙事業部門 売上高 **144億42**百万円 (13.7%減)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 高級紙製品用紙

主力のカラー封筒用紙をはじめ、色画用紙や耐油耐水紙など、全般的に需要低迷の影響を受けて低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



加工材事業部門 売上高 **167億38**百万円 (14.7%減)

主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙

合成皮革用工程紙は第3四半期に入り自動車用で需要の回復が見られましたが、航空機用などの炭素繊維複合材料用工程紙や一般粘着製品用剥離紙は需要低迷の影響を大きく受けました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



売上高構成



営業利益構成



グローバルネットワーク (2021年3月31日現在)

欧州ほか

連結子会社 3社

売上高：約 **87** 億円



琳得科(蘇州)科技有限公司

北米

連結子会社 12社

売上高：約 **389** 億円

アジア

連結子会社 23社

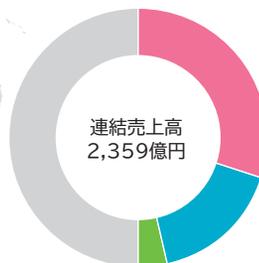
売上高：約 **709** 億円



リンテック・インドネシア社

海外売上高比率
(2021年3月期)

約 **50%**



マックタック・アメリカ社



マディコ社

主な海外連結子会社

■ 印刷材・産業用材関連 ■ 電子・光学関連 ■ 洋紙・加工材関連

| | | |
|--------|---------------------------|----------------------------------------|
| 米国 | マックタック・アメリカ社 ■ | シール・ラベル用粘着製品、装飾関連フィルム、工業用粘着テープなどの製造販売 |
| | マディコ社 ■ | ウインドーフィルムなどの製造販売 |
| 中国 | 琳得科(蘇州) 科技有限公司 ■ ■ | シール・ラベル用粘着製品、合成皮革用工程紙などの製造販売 |
| 韓国 | リンテック・コリア社 ■ | 半導体関連製品、積層セラミックコンデンサ関連テープなどの製造販売 |
| シンガポール | リンテック・シンガポール社 ■ ■ | シール・ラベル用粘着製品、二輪用・自動車用粘着製品、半導体関連製品などの販売 |
| インドネシア | リンテック・インドネシア社 ■ | シール・ラベル用粘着製品、二輪用・自動車用粘着製品などの製造販売 |
| マレーシア | リンテック・インダストリーズ(マレーシア) 社 ■ | 積層セラミックコンデンサ関連テープの製造販売 |

※ リンテック・インドネシア社への出資比率は65%、そのほかの会社への出資比率は100%です。



リンテック流 名言・格言集



皆様の暮らしを豊かにする当社の製品や技術などをイメージした“リンテック流”のオリジナル名言・格言と、目を引く偉人風のシルエットを組み合わせて表現した新聞広告シリーズです。

【掲載紙】 日本経済新聞、讀賣新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、北海道新聞、中日新聞、中国新聞、西日本新聞、上毛新聞、神戸新聞、愛媛新聞、日刊工業新聞、化学工業日報

リンテック流
名言・格言集

夢を目標へと
変えた瞬間
理想の姿に
近づいていく

持続可能な社会の実現に向けて
くつつく技術で挑戦する

リンテック株式会社

4月 April 掲載広告

当社グループは2030年の“あるべき姿”を見据えた長期ビジョンを掲げ、その実現に向けて3年ごとの中期経営計画を推進していくことにしました。事業活動を通じた社会的課題の解決への貢献と持続可能な社会の実現を目指して、くつつく技術で挑戦していきます。

リンテック流
名言・格言集

小さな優しさの
積み重ねが
明日の大きな
一歩につながる

植物由来の原料を活用した
環境に優しいラベル素材

リンテック株式会社

5月 May 掲載広告

植物由来のバイオマス粘着剤を採用した各種ラベル素材の開発・提案に注力している当社では、ラベルの印刷面に貼って耐久性を付与するラミネートフィルムについてもバイオマス原料の活用を推進。フィルムの薄型化も図り、石油資源の使用量削減にも努めています。

リンテック流
名言・格言集

限界だと
思える時こそ
その先に
成長がある

-196℃の低温環境にも対応
凍結保存用途に適したラベル素材

リンテック株式会社

6月 June 掲載広告

一般的なラベルは低温環境下で使用すると剥がれてしまうことがありますが、当社は常温で貼付した後に-196℃までの低温環境に置いても剥がれにくいラベル素材を開発。凍結保存が必要なワクチン用など、医療・医薬関連の表示・管理ラベルに適しています。

詳しくは
こちらのサイトで
御覧いただけます

**DREAM
FACTORY**

www.lintec.co.jp/dream/ad

会社概要 (2021年3月31日現在)

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社名 | リンテック株式会社 (英文：LINTEC Corporation) |
| 本社 | 東京都板橋区本町23-23 |
| 設立 | 1934年10月15日 |
| 資本金 | 232億8,531万5,161円 |
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 従業員数 | 連結：4,913人 単体：2,618人 |
| 事業所 | 営業拠点：東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点：吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県) 研究拠点：蕨・さいたま(埼玉県) 海外事務所：ハノイ(ベトナム) |
| 連結子会社 | 国内：3社 海外：38社 |

役員一覧 (2021年6月21日現在)

| 取締役 | | 執行役員 | |
|--------------------|------------------|--------|-------|
| 代表取締役会長 | 大内 昭彦 | 常務執行役員 | 西川 淳一 |
| 代表取締役社長 | 社長執行役員 服部 真 | 常務執行役員 | 若狭 毅彦 |
| 取締役 | 専務執行役員 川村 悟平 | 上席執行役員 | 大西 徹 |
| 取締役 | 専務執行役員 望月 経利 | 上席執行役員 | 村田 則夫 |
| 取締役 | 常務執行役員 海谷 健司 | 上席執行役員 | 植松 茂 |
| 取締役 | 上席執行役員 柴野 洋一 | 上席執行役員 | 岩崎 豊 |
| 取締役(社外) | 瀬邊 明 | 上席執行役員 | 盛本 純郎 |
| 取締役(社外) | 独立 奥島 晶子 | 上席執行役員 | 月田 達也 |
| 取締役(社外) | 独立 杉本 茂 | 上席執行役員 | 菅谷 俊巳 |
| | | 上席執行役員 | 吉武 正昭 |
| | | 執行役員 | 持田 欣也 |
| | | 執行役員 | 大嶋 正広 |
| | | 執行役員 | 松尾 博之 |
| | | 執行役員 | 西角 尚志 |
| | | 執行役員 | 所司 悟 |
| | | 執行役員 | 峯浦 芳久 |
| | | 執行役員 | 妹尾 秀男 |
| | | 執行役員 | 三宅 英樹 |
| 監査等委員である取締役 | | | |
| 取締役/監査等委員 | 木村 雅昭 | | |
| 取締役(社外)/監査等委員 | 独立 大岡 哲 | | |
| 取締役(社外)/監査等委員 | 独立 大澤 加奈子 | | |

株式情報 (2021年3月31日現在)

株式の状況

| | |
|------------------------------------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 300,000,000株 |
| 発行済株式の総数 (ただし自己株式4,336,994株を除く) | 72,293,746株 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主数 | 6,205人 |

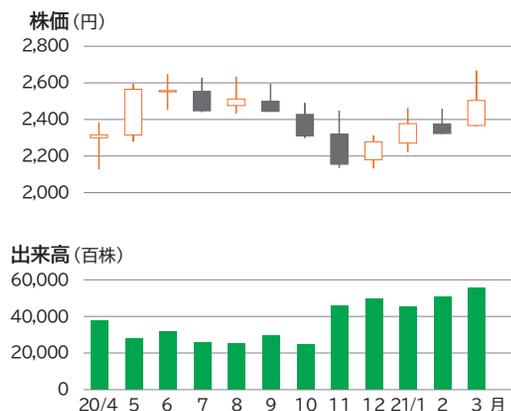
大株主の状況 (上位10人)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------------------|---------|---------|
| 日本製紙株式会社 | 21,737 | 30.06 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 4,395 | 6.08 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 3,526 | 4.87 |
| 全国共済農業協同組合連合会 | 2,625 | 3.63 |
| 庄司 たみ江 | 1,796 | 2.48 |
| 株式会社かんぽ生命保険 | 1,715 | 2.37 |
| 塩飽 恵以子 | 1,543 | 2.13 |
| リンテック従業員持株会 | 1,071 | 1.48 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口7) | 874 | 1.20 |
| 塩飽 一誉子 | 803 | 1.11 |

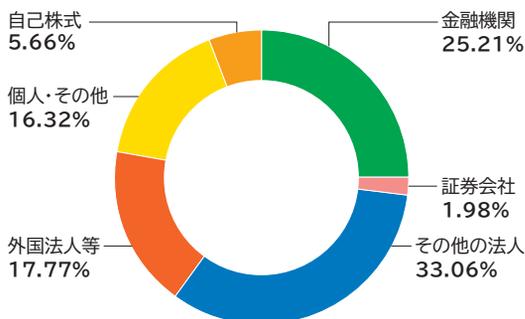
注1. 当社は自己株式4,336,994株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2020年4月~2021年3月)



所有者別分布比率



アンケートへのご協力をお願い

当社では、より質の高いIR活動を推進していくために、読者の皆様のご意見やご要望を幅広くお聞きさせていただきたいと考えております。つきましては、添付のはがき、またはインターネット（裏表紙参照）にてご回答いただけましたら幸いです。何とぞご協力のほどお願い申し上げます。（2021年9月30日締め切り）

なお、ご回答いただいた皆様には、後日お礼として「2022年版リンテック・オリジナルカレンダー」を送付させていただきます。*発送は11月中旬以降を予定しています。回答はお一人につき1件まで有効とさせていただきます。

質問1

当社株式への投資についてご質問します。

① 当社株式を保有されていますか？ それは何株ですか？

- | | |
|---------------|----------------|
| ア. 5千株以上 | エ. 100株～200株未満 |
| イ. 1千株～5千株未満 | オ. 100株未満 |
| ウ. 200株～1千株未満 | カ. 保有していない |

※ ①でカ. を選ばれた方は **質問2** にお進みください。

② 保有期間はどのくらいですか？

- | | |
|-------------|------------|
| ア. 10年以上 | エ. 1年～3年未満 |
| イ. 5年～10年未満 | オ. 1年未満 |
| ウ. 3年～5年未満 | |

③ 当社株式の購入のきっかけは何ですか？

- ア. 新聞の記事を読んで
- イ. 「会社四季報」などの投資情報誌を見て
- ウ. インターネットで調べて
- エ. IRイベント（会社説明会など）に参加して
- オ. 証券会社からの情報で
- カ. 知人の勧めで
- キ. 自分や知人が勤めている（いた）から
- ク. その他（ ）

④ 当社株式を保有する理由として当てはまるものは何ですか？（複数回答可）

- ア. 株価の値上がり期待できるから
- イ. 配当金が魅力的だから
- ウ. リンテックのファンだから
- エ. 当誌「LINTEC WAVE」を読むのが楽しみだから
- オ. リンテック・オリジナルカレンダーが好きだから
- カ. 自分や知人が勤めている（いた）から
- キ. その他（ ）

⑤ 当社の株主還元策として最も期待することは何ですか？ 一つだけお選びください。

- | | |
|------------|------------|
| ア. 適正株価の形成 | エ. 株主優待の導入 |
| イ. 安定配当 | オ. 自社株買い |
| ウ. 業績連動型配当 | カ. その他（ ） |

質問2

当誌「LINTEC WAVE」（以下「WAVE」）や当社の広報・IR活動についてご質問します。

① 皆様には3か月ごとに「WAVE」をお届けしていますが、どの程度読まれていますか？

- | | |
|----------------|---------------|
| ア. ほぼ全ページを読む | ウ. 全体的に軽く目を通す |
| イ. 興味のあるページは読む | エ. ほとんど読まない |

② 今号の「WAVE」を御覧いただき、5点満点で点数をつけるなら何点ですか？

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| ア. 5点 | イ. 4点 | ウ. 3点 | エ. 2点 | オ. 1点 |
|-------|-------|-------|-------|-------|

③ 「WAVE」に掲載してほしい情報は？（複数回答可）

- | | |
|---------------|-----------------|
| ア. 経営方針・戦略 | オ. 海外事業・拠点情報 |
| イ. 事業内容の詳しい説明 | カ. 社員の紹介 |
| ウ. 研究開発に関する情報 | キ. ESG・SDGs関連情報 |
| エ. 製品の採用事例 | ク. その他（ ） |

④ 当社新聞広告を御覧になったことはありますか？

- | | | |
|-------|--------|-------|
| ア. ある | 新聞名（ ） | イ. ない |
|-------|--------|-------|

質問3

当社へのご意見・ご要望、「WAVE」や広告についてのご感想、「LSV 2030」への期待などをぜひお聞かせください。（記述回答）

ご協力ありがとうございました。

株主メモ

定時株主総会 6月
配当基準日 期末：3月31日 中間：9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1-4-5
三菱UFJ信託銀行株式会社
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
・郵便物送付先 0120-232-711
・フリーダイヤル
・ホームページアドレス www.tr.mufg.jp/daikou

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

法定公告掲載ホームページアドレス

www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html

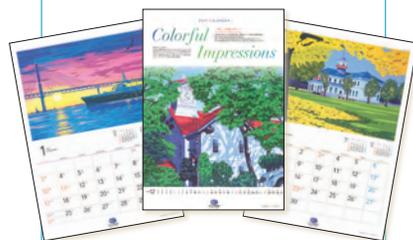
2022年版オリジナルカレンダー プレゼントのお知らせ

本誌23ページの読者アンケートにお答えいただいた皆様には後日、当社オリジナルカレンダーを送付させていただきます。本誌付属のはがき(切手不要)かインターネット(右記二次元コードから)でご回答いただけますので、ぜひご協力ください。



www.lintec.co.jp/enq83

※ インターネットによるご回答にはメールアドレスが必要です。

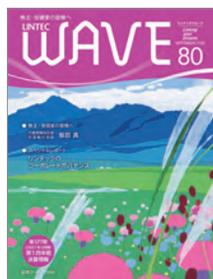


※ 画像は2021年版カレンダー

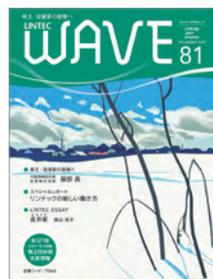
● 当誌「LINTEC WAVE」のバックナンバーは当社ホームページで御覧いただけます。(www.lintec.co.jp/ir)



No.79 (2020年6月発行)



No.80 (2020年9月発行)



No.81 (2020年12月発行)



No.82 (2021年3月発行)



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL www.lintec.co.jp

発行 広報・IR室 2021年6月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウエーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。